

平成22年度における教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書

平成23年9月

長浜市教育委員会

目次

◆点検・評価の実施概要等について	1
◆点検・評価報告書	
方針Ⅰ 知・徳・体の調和のとれた子どもを育む学校教育の推進 ＜教育指導課・すこやか教育推進課・学校給食センター・教育総務課＞	4
方針Ⅱ 安全で快適な学校環境づくり ＜すこやか教育推進課・教育総務課＞	6
方針Ⅲ 貴重な郷土の文化財の保存・普及と有効活用 歴史文化の薫るまちづくり ＜文化財保護センター・長浜城歴史博物館＞	7
方針Ⅳ 生涯学習社会づくりの推進と青少年健全育成 文化芸術活動と生涯スポーツ振興 図書館サービスの充実 ＜生涯学習・文化スポーツ課・図書館＞	9
方針Ⅴ 学校施設等の管理費など ＜教育指導課・すこやか教育推進課・教育総務課＞	11

(参考)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

一部省略

点検・評価の実施概要等について

1. 趣旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 27 条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を実施する。

2. 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、平成 22 年度教育行政方針「ながはまの教育」に基づき実施した施策・事務事業とする。

3. 実施方法

- (1) 施策・事務事業の目的や進捗状況、実績・効果を明らかにするとともに、自己点検・評価を行う。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するため、長浜市教育委員会事務評価委員会を設置し、学識経験者から意見・助言を求める。
- (3) 点検・評価の結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表する。
- (4) 報告書の内容は、次年度以降の重点施策の展開、予算編成、組織運営などに活用していく。

4. 点検・評価報告書の構成

(1) 方針 I～V

教育行政方針「ながはまの教育」の重点施策を構成する方針

(2) 事業名

各方針を達成する事業の名称（平成 22 年度長浜市一般会計予算の事業名）

(3) 自己点検・評価

各事務事業の進捗状況や実績・効果を踏まえ、各所管課が事業ごとに「必要性」「効果性」「効率性」の観点から評価を行い、今後の「方向性」を示すものとする。

～自己評価基準表～

◇必要性・効果性・効率性

評価の基準	評価の視点	評価の区分
必要性 (事業実施 の必要性)	1 市民からの要望・ニーズは高いか	A 増加傾向にある
	2 事業目的・推進状況等から事業実施の必要性はあったか	B あまり変化していない
	3 社会経済情勢の変化等により必要性が変化していないか	C やや減少傾向にある
	4 国・県で類似の事業が実施されていないか	D かなり減少している

	5 民間等で同種の事業が実施されていないか	
効果性 (成果目標に対する達成度)	1 対象が適正に把握されているか 2 成果目標が適正に設定されているか 3 成果目標が達成できたか 4 本市の他の部局等で同種の事業があるか	A 十分な効果が現れている B 概ね期待した効果が上がってきている C 効果は十分に上がっていないが、改善を加えることにより効果の達成は可能である D 期待した効果が上がらず、根本的な見直しが必要である
効率性 (事業の効率化の状況)	1 費用対効果・コスト削減を図っているか 2 他の類似団体とのコスト比較を行ったか 3 受益者負担は適正であるか 4 事業実施手段の見直しを行ったか 5 事業を定期的に進行管理できたか	A 効率的である B 概ね効率的だが、さらに効率的となるよう事業手法を検討する必要がある C 効率的とはいえず、さらに状況を見極め、他の手法を検討する必要がある D 非効率的であり、根本的な事業手法の検討が必要である

◇方向性

評価の基準	評価の区分	評価の視点
方向性 (事業の今後の方向性)	A 重点化する	事務事業を引き続き実施しますが、事業内容の拡充や事業費の増大、類似事業の吸収などにより、事業内容・事業量を大きく増加することにより、成果が飛躍的に向上する
	B 現状のまま継続する	事務事業を引き続き実施し、特段の改善・見直しを行わない場合又は改善見直しを行うが、事業内容・事業量について大きな変更がなく、事業目的に影響を与えない範囲内で一部変更する
	C 手段を改善する	事業の対象、目的を変えずに引き続き実施するが、実施主体や手段を変えることにより効率的な事業執行を図る
	D 効率化を図る	事務事業を引き続き実施するが、結果単位あたりのコストを下げ、より効率的な事業執行を図る
	E 簡素化する	事務事業を引き続き実施するが、事業内容・事業量を大きく減少する
	F 統合する	事務事業を取りやめるが、その事務事業を終了するにあたり、類似事業に編入する
	G 廃止する	事務事業を取りやめる。事務事業を終了する
	H 完了した	事務事業が完了した

(4) 事務評価委員会の所見

事務評価委員会の意見などを記載する。

(5) 今後の取組み等

事務評価委員会の意見等を踏まえ、教育委員会の今後の取組み等について記載する。

5. 点検・評価スケジュール

	内 容
6月、7月	自己点検・評価の実施（各所管課）
8月初旬	長浜市教育委員会事務評価委員会の開催（外部評価）
8月下旬	教育委員会定例会で報告書を審議
9月中旬	市議会へ報告書を提出、市民へ公表（ホームページ掲載）

6. 長浜市教育委員会事務評価委員会

(1) 事務評価委員

(敬称略)

区 分	氏 名	備 考
外部委員	伊藤 正恵	大学教授
	草野 勉	会社役員
	井関 真弓	社会教育委員
事務局	江畑 平夫	教育部長

※ 外部委員の任期 平成23年7月28日～平成25年3月31日

(2) 審議の経過

- 平成23年8月10日 第1回長浜市教育委員会事務評価委員会
教育指導課、生涯学習・文化スポーツ課及び図書館の所管する事務事業の評価。
- 平成23年8月11日 第2回長浜市教育委員会事務評価委員会
文化財保護センター、長浜城歴史博物館、学校給食センター、すこやか教育推進課及び教育総務課が所管する事務事業の評価並びに総括。
- 平成23年8月29日 教育委員会8月定例会
「議案第39号 平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の報告書の作成について」を審議し、議決。

点検・評価報告書

I 知・徳・体の調和のとれた子どもを育む学校教育の推進 <具体的な方針> ◇地域に根ざした学校づくり ◇基礎的知識技能の確実な習得 ◇思考力・表現力の伸長 ◇学習習慣の確立と学習意欲の向上 ◇英語教育の推進 ◇幼児期教育の充実 ◇特別支援教育の推進 ◇道徳教育の推進 ◇生徒指導の充実 ◇人権教育の推進 ◇体育・食育の充実 ◇教職員の資質・専門的力量的向上 ◇青少年の健やかな育成支援 ◇非行防止、立ち直り支援		
---	--	--

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				具体的な評価等
			必要性	効果性	効率性	方向性	
1	学校運営協議会推進研究事業費	教育指導課	A	B	A	A	虎姫と湖北地区で研究を進めました。各校が学校運営協議会(推進委員会)を立ち上げ、地域の教育力を学校運営に取り入れ、学校、地域、保護者が一体となって教育課題解決に取り組む組織づくりを進めました。
2	活力あふれる学校づくり推進事業費	教育指導課	A	B	A	A	各学校で学校評価の結果を活用して学校の強みと弱みを明確にし、強みをさらに強化したり、弱みを解消したりするために一校一芸の取り組みを推進するなど、創意ある教育活動を展開しました。
3	活力あふれる学校づくり推進事業費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	各中学校の部活動等に必要な施設の利用助成を行うなど、スポーツ、文化活動の機会を充実させ心身の健全な育成に取り組みました。
4	小1すこやか支援員事業費	教育指導課	A	A	A	A	非常勤の支援員を配置することにより、十分に学校生活に適應していない小学校1年生の児童に対し、学校生活になじめるよう学習面や生活面においてきめ細やかな指導を行いました。それにより小1ギャップといわれるような問題を解消することができました。
5	幼稚園管理費	教育指導課	A	A	B	B	臨時職員の配置により、個に応じたきめ細かな対応や特別支援児への適切な支援ができるなど、指導体制の強化を図ることができました。そのことで幼児一人ひとりの発達を促す保育が推進でき、園運営の充実が図れました。
6	特別支援教育推進事業費	教育指導課	A	B	A	B	巡回相談の実施により児童生徒のアセスメントや個に応じた支援の充実を図り、教職員の資質の向上に取り組めました。また、小中学校合同合宿訓練等により、児童生徒の社会性や自立性を養いました。
7	生徒指導実践活動推進事業費	教育指導課	A	B	A	A	学校裏サイトの実態を調査するものであり、ネット問題の実態等を把握することにより、ネット上のいじめや誹謗中傷の防止を図るとともに、今後の情報教育、人権教育、安全教育等の推進に資するものです。10月に市内全小中学校(41校)を対象に学校裏サイトの実態調査を実施、調査結果を各校に配付し、書き込み事案に対する指導とネット活用に対する全体指導を行いました。
8	生徒指導実践活動推進事業費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	通学用ヘルメットの購入経費の一部を補助したほか、安全旗を各校園に配布するなど登下校時の安全確保に努めました。
9	英語教育推進事業費	教育指導課	A	A	A	A	小学校と中学校の英語教育の連携に取り組むとともに、中学校での更なるコミュニケーション能力の育成ができるよう、英語教育の重点化を図っています。(全41小中学校の全学年)
10	英語教育推進事業費	すこやか教育推進課	B	A	A	B	ALTの増員に伴う新規住居の確保や生活用品のレンタル等、授業に集中でき、日常生活に支障が出ないよう、住環境を整備することができました。
11	小中学生国際交流事業費	教育指導課	A	B	B	B	派遣生が国際交流に関わる仕事に就いたり、英語学習に一層熱心に取り組むといった報告を受けています。また、外国からの訪問客とも積極的に対話を図るなどコミュニケーションへの意欲も高くなっています。
12	外国人児童生徒教育サポート・プレスクール運営事業費	教育指導課	A	A	A	B	依然として多くの外国人児童生徒が在籍しており、今年度は再び微増傾向にあります。通常の巡回指導同様に、今年度から、初期指導を教室運営方式から巡回方式に切り替えて行っており、集中的な指導を続けているところです。
13	教育センター運営事務経費	教育指導課	A	A	B	B	種々の教職員研修、学力調査、教育研究の推進等により、校・園の教育力の向上、教職員の資質向上に効果がありました。

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				具体的な評価等
			必要性	効果性	効率性	方向性	
14	教育指導事務経費	教育指導課	A	B	B	B	各教科の指導をはじめ、就学前教育、特別支援教育、道徳教育、人権教育等に関する研究や研修を実施し、教職員の専門性と資質を向上を図りました。
15	教育指導事務経費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	各種中体連大会への出場奨励等、スポーツ文化活動の充実により、児童生徒の心身の健全な発達を図ることができました。
16	青少年相談指導事業費	教育指導課	A	A	B	B	不登校状況にある児童生徒や保護者への教育相談体制を確立するとともに、不登校や在宅状態を解消していくため、体験活動を軸とした適応指導を実施し、児童生徒自身の適応力や自尊感情の向上に効果がありました。
17	青少年立ち直り支援事業費	教育指導課	A	A	B	B	相談・支援の数は年々増加傾向にあると同時に相談内容も重くなってきており、青少年センターの相談機関としての必要性が高まっています。
18	青少年センター運営事務経費	教育指導課	A	A	B	B	青少年の健全育成、非行防止のために地域や関係機関との連携を図り、補導、環境浄化、啓発等の活動に寄与しています。
19	学校保健衛生事務経費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	子どもや教職員の健康維持・増進のための適切な指導を実施することができました。
20	学校給食センター管理運営事業費	長浜学校給食センター	A	A	B	B	安全・安心な学校給食を提供することができました。
21	学校調理場管理運営事業費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	安全・安心な学校給食を提供することができました。
22	新学校給食センター整備事業費	教育総務課	A	A	A	A	長浜、びわ、虎姫の学校給食センターを統合し、安全で安心した給食の提供と地産地消等の推進を図るため新学校給食センターの用地確保を図りました。

【自己点検評価の指標】 ※ 詳細は1ページの「自己評価基準表」を参照

必要性 A：増加傾向にある B：あまり変化していない C：やや減少傾向にある D：かなり減少している

効果性 A：十分な効果あり B：概ね期待どおり C：やや低い D：期待した効果なし

効率性 A：効率的である B：概ね認められる C：やや低い D：非効率的である

方向性 A：重点化 B：現状維持 C：手段を改善する D：効率化を図る E：簡素化する F：統合 G：廃止 H：完了

<事務評価委員会の所見>

◇「学校運営協議会」制度を活用し地域に根ざした学校づくりを進めていただいているが、これからは、学校から地域に積極的に出向き働きかけることで、より連携を深めていくことが必要だと考える。今後の学校運営協議会の成果に期待する。

◇特別支援教育について、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するための適切な指導をいただきたい。また、発達しようがい等のしようがいは個人によって様々であり、各関係機関と連携してできる限り早期からのきめ細かい支援に取り組まれない。

◇就学前教育について、幼稚園、保育園に関係なくそれらを一体化して運営できるシステムづくりが必要だと考える。

◇各教科において基礎的事項の指導を徹底し、確かな学力の育成に努められたい。特に表現力やコミュニケーションの基礎となる国語力(特に語彙力)について確実に身につけることに重点を置いた取組みを充実されたい。

◇英語教育について、小学校で学んだことが中学校にどのようにつながっていくかが課題である。今後、更なる小中の連携及び円滑な接続を図られたい。

◇教員研修については、特に若手教員に対する地域・保護者とのコミュニケーション能力や情報(コンピュータ)活用能力を向上させる取組みを充実されたい。

◇読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであり、学校教育の場で、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるような環境整備に取り組まれない。

◇食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、子どもだけでなく保護者に対しても積極的に食育に取り組んでいくことが重要である。

◇青少年の立ち直り支援や相談支援事業を推進し、引き続き自立し力強く生きる青少年の育成に努められたい。

◇学校給食の献立統一の是非については、それぞれのメリット・デメリットを検証した上で今後の方向性を検討されたい。また、給食の提供にあっては、日々、衛生管理の徹底を図るとともに、老朽化した施設の計画的な整備を進められたい。

<今後の取組み等>

- ◇市内全小・中学校で来年度発足する「学校運営協議会」の活動を充実させ、地域・保護者・学校が一体となり学校運営にあたる体制づくりを推進します。【教育指導課】
- ◇幼保一体化に向け、就学前教育の教育課程の統一や職員の資質向上を目的とした研修の実施等を進めます。【教育指導課】
- ◇就学前教育の教員不足に対応するため、近隣の大学等との連携や交流を推進します。【教育指導課】
- ◇英語教育に係る小・中学校連結を目的としたカリキュラムについては、小・中学校で実施している内容や評価等を踏まえ、文法等の基礎的事項の習得を含めた適切な目標設定を行い、総合的な英語力育成に努めます。【教育指導課】
- ◇若手教員の研修については、保護者とのコミュニケーション能力等に焦点を絞った内容の充実を図り、実践的能力の向上を図ります。【教育指導課】
- ◇各小・中学校で実施している「読書活動」、「暗唱等による国語力育成」の取り組みの充実を図り、学力向上の基礎となる国語力向上を図ります。【教育指導課】
- ◇各小中学校において、公立図書館との連携による読書活動推進の取り組みを実施します。また、学校運営協議会と連携した図書ボランティアの拡大を図り、学校図書館の有効活用や読書指導を充実します。【教育指導課】
- ◇食育を推進するため、学校、家庭、地域と連携し、「食育の日」の取組みや地場産物を使った献立、郷土食などの実施、「給食だより」などを充実していきます。学校給食の献立統一については、市内各給食センターで施設や設備に違いがあるの中で、地域の特色や給食費を踏まえて今後検討していきます。【すこやか教育推進課】

Ⅱ 安全で快適な学校環境づくり
 <具体的な方針>
 ◇校園施設等の安全確保と充実、教育備品等の整備
 ◇安全・安心な通学、通園体制の確保
 ◇経済的に就学が困難な家庭への援助

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				具体的な評価等
			必要性	効果性	効率性	方向性	
23	小学校校舎等維持管理経費	教育総務課	A	A	B	B	安全・安心な学校づくりのための施設維持管理を行い、教育環境の改善と施設の長寿命化を図りました。
24	神照小学校整備事業費	教育総務課	A	A	A	H	老朽化し耐震性能が不足している体育館の改築と既存校舎の大規模改修を行い、空調・衛生設備の充実、エレベーター設置によるバリアフリー化を行いました。
25	高時小学校改築事業費	教育総務課	A	A	A	H	老朽化が著しく、危険な校舎・体育館の改築事業を昨年に引き続き実施しました。平成22年度をもって改築事業を完了しました。
26	中学校校舎等維持管理経費	教育総務課	A	A	B	B	安全・安心な学校づくりのための施設維持管理を行い、教育環境の改善と施設の長寿命化を図りました。
27	びわ中学校整備事業費	教育総務課	A	A	A	H	平成24年度からの学習指導要領改訂に伴い、必須科目となる武道の教育環境を整備するため、武道場の新築工事を行い、事業を完了しました。
28	高月中学校整備事業	教育総務課	A	A	A	B	老朽化し耐震性能が不足している校舎の改築を行い、安全・安心な教育環境の整備を図るため、移転地の造成工事を完了し、設計業務に着手しました。
29	幼稚園園舎等維持管理経費	教育総務課	A	A	B	B	安全・安心な学校づくりのための施設維持管理を行い、教育環境の改善と施設の長寿命化を図りました。
30	神前幼稚園整備事業費	教育総務課	A	A	A	B	老朽化し耐震性能が不足している園舎の改築を行い、安全・安心な教育環境の整備を図るため、設計業務に着手しました。
31	小学校教育備品整備事業費	すこやか教育推進課	A	A	B	B	教材備品や学校図書室の図書を購入し、児童の学習環境を整えることができました。
32	中学校教育備品整備事業費	すこやか教育推進課	A	A	B	B	教材備品や学校図書室の図書を購入し、生徒の学習環境を整えることができました。
33	幼稚園教育振興費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	教材備品や絵本等を購入し、園児の学習環境を整えることができました。

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				
			必要性	効果性	効率性	方向性	具体的な評価等
34	通園バス管理事業費	すこやか教育推進課	A	A	B	B	通園時の交通安全の確保と災害等からの危険回避に努めるとともに遠方の児童の就園機会の環境を確保することができました。
35	小学校スクールバス管理事業費	すこやか教育推進課	A	A	B	B	通学時の交通安全の確保と災害等からの危険回避に努めるとともに遠方の児童の通学時間の短縮を図りました。
36	中学校スクールバス管理事業費	すこやか教育推進課	A	A	B	B	通学時の交通安全の確保と災害等からの危険回避に努めるとともに遠方の生徒の通学時間の短縮を図りました。
37	小学校教育振興費	すこやか教育推進課	A	A	B	B	児童が快適な学校生活を送れるよう経済的に困窮している世帯に対して安心して教育が受けられるよう、給食費、学用品費の一部、就学旅行に係る経費に対し扶助を行いました。
38	中学校教育振興費	すこやか教育推進課	A	A	B	B	生徒が快適な学校生活を送れるよう経済的に困窮している世帯に対して安心して教育が受けられるよう、給食費、学用品費の一部、就学旅行に係る経費に対し扶助を行いました。
<p>【自己点検評価の指標】 ※ 詳細は1ページの「自己評価基準表」を参照</p> <p>必要性 A：増加傾向にある B：あまり変化していない C：やや減少傾向にある D：かなり減少している</p> <p>効果性 A：十分な効果あり B：概ね期待どおり C：やや低い D：期待した効果なし</p> <p>効率性 A：効率的である B：概ね認められる C：やや低い D：非効率的である</p> <p>方向性 A：重点化 B：現状維持 C：手段を改善する D：効率化を図る E：簡素化する F：統合 G：廃止 H：完了</p>							

<事務評価委員会の所見>

- ◇耐震化、暑さ対策など学校施設の整備については、適切な優先順位のもと着実に進められたい。
- ◇学校の新増築については、将来を見据えた長期的な計画のもと無駄のない設備投資に努められたい。
- ◇情報活用能力の一層の充実を図るため、各学校への適切なコンピュータの配置に努められたい。また、個人情報の漏えい等がないよう必要な措置を講じるとともに厳格な情報管理に努められたい。
- ◇登下校時の交通安全の確保や不審者対策をはじめとする学校施設の安全管理について一層の充実に努められたい。

<今後の取組み等>

- ◇学校施設等の維持管理については、各校・園の耐震補強・改築工事を計画的に実施し、安全な施設整備を進めるとともに、限られた予算の範囲内で、空調・衛生設備等の改修をはじめとして老朽化に伴う整備や修繕を行い、校・園施設の長寿命化に計画的に取り組めます。【教育総務課】
- ◇学校施設整備については、今後の子どもの人数の増減などを十分に勘案したうえで、長期的な視野で計画的かつ効率的な執行に努めます。【教育総務課】
- ◇交通安全と不審者対策については、市内2,150人の方がスクールガードに登録いただき子どもたちの登下校を見守っていただいています。また、各校・園では、安全計画・不審者対策マニュアルを作成し、それに基づき訓練を実施するなど、日々安全管理に努めています。【すこやか教育推進課】

Ⅲ 貴重な郷土の文化財の保存・普及と有効活用 歴史文化の薫るまちづくり

<具体的な方針>

- ◇文化財調査・整備事業及び環境整備の推進
- ◇文化財に親しみ学ぶ場の提供
- ◇豊かな歴史文化遺産を十分に活用した展示会、講演会、見学会、体験学習会などの開催

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				
			必要性	効果性	効率性	方向性	具体的な評価等
39	文化財保護普及事業費	文化財保護センター	A	B	B	B	文化財資料の調査成果などを公開、活用することができました。(長浜市文化財講演会開催、指定文化財説明板新設および建替え、文化財年報発行、月刊誌「層」の発行、子ども考古学教室開催、出前講座年間36回 延べ1,200人ほか)
40	指定文化財等保存整備事業費	文化財保護センター	A	A	B	B	指定文化財の適正な保存管理、保存修理を行うことができました。(大通寺台所門保存修理、都久夫神社本殿保存修理、赤田氏庭園保存修理、孔雀山山蔵保存修理、萬右鍛冶小屋保存修理、未指定文化財調査、文化財保存管理事業ほか)

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				具体的な評価等
			必要性	効果性	効率性	方向性	
41	埋蔵文化財調査事業費	文化財保護センター	A	A	B	B	個人住宅建設等に伴う発掘調査を実施し、開発等遅滞のないように実施しました。(58遺跡)
42	埋蔵文化財調査受託事業費	文化財保護センター	B	A	B	B	民間開発に伴う発掘調査を実施し、開発等遅滞のないように実施しました。(大塚遺跡、大通寺遺跡)
43	長浜城歴史博物館管理運営事業費	長浜城歴史博物館	A	A	B	A	市町合併にともなう広域的なテーマや、「江・浅井三姉妹博覧会」にあわせたプレ企画展示、博覧会会期を通じた特別企画「浅井三代と三姉妹」など、数多くの展示・講演会・見学会等を実施しました。友の会会員による展示解説や行事の運営協力など、市民協働の取り組みは、来館者にとってより学習の要素が高く内容の濃い、満足度の高い体験になると考えます。NHK大河ドラマと博覧会によって、全国から注目を集めることから、さらなる地域文化の掘り起こしと、広く全国へ湖北・長浜の魅力をピーアールできることが期待されます。
44	浅井歴史民俗資料館管理運営事業費	長浜城歴史博物館	A	A	B	B	「江・浅井三姉妹博覧会」にあわせて展示のリニューアルや、バリアフリー関係など施設整備を行いました。平成23年1月以降、博覧会効果の影響で飛躍的に入館者数は増大し、好評を得ています。あざい歴史の会会員による積極的な運営補助・事業参加により、来館者の対応や体験学習がますます充実し、市民協働による資料館運営が定着したと言えます。
45	高月観音の里歴史民俗資料館管理運営事業費	長浜城歴史博物館	A	B	B	B	地域の歴史・民俗・文化・先人等を掘り起こし、企画展やメディアなどを通じて積極的にその情報を発信しました。寄託され保管している資料は、国・県・市の指定文化財だけでも11件1,498点を数え、本市北部における文化財を守る拠点でもあります。昔の暮らし体験学習や夏休みイベント等の子ども向き企画には運営ボランティアやNPO団体など地域住民が協力して行っています。
46	小谷城戦国歴史資料館管理運営事業費	長浜城歴史博物館	A	A	B	B	「江・浅井三姉妹博覧会」にあわせて展示のリニューアルと施設整備を行いました。平成23年1月以降、博覧会効果の影響で飛躍的に入館者数は増大し、好評を博しています。博覧会小谷会場とあわせ、地域住民による積極的な運営によって、来館者や史跡見学者らへの対応がますます充実し、市民協働による資料館運営が定着したと言えます。
47	文化施設管理運営費	長浜城歴史博物館	A	B	B	D	市町合併により新長浜市には、さまざまなジャンルの歴史文化施設は11館を数えます。それぞれが地域の特性・歴史・民俗・文化等に関わる、地域にとって欠かせない資料を収集展示しています。合併後「地域文化の発信の起点」「地域のアイデンティティ確立の場」として、地域の資料館の役割はますます増大しています。現在、各資料館の運営形態は、直営・指定管理者運営など様々ですが、今後は、その館の「果たすべき役割・ニーズ・コスト・効果」等を複合的に考えつつ、館ごとにその将来的なあり方を検討する必要があります。

【自己点検評価の指標】 ※ 詳細は1ページの「自己評価基準表」を参照

必要性 A：増加傾向にある B：あまり変化していない C：やや減少傾向にある D：かなり減少している

効果性 A：十分な効果あり B：概ね期待どおり C：やや低い D：期待した効果なし

効率性 A：効率的である B：概ね認められる C：やや低い D：非効率的である

方向性 A：重点化 B：現状維持 C：手段を改善する D：効率化を図る E：簡素化する F：統合 G：廃止 H：完了

<事務評価委員会の所見>

- ◇文化財の保護・普及に関して様々な講座や体験学習を展開されているが、引き続き、地域の歴史や文化を通じて子どもたちが郷土を愛する心を育み、歴史文化が一層身近になるような取組みを図られたい。
- ◇市内には数多くの文化財があるが、今後それらを表に出し「本物」として伝承し、観光部署との連携を図りつつ長期的な視野のもとリピーターを増やす取組みを進められたい。また、展示スペースや保管場所の確保について検討いただきたい。
- ◇複数の博物館や資料館を設置されており、展示会をはじめとする行事やイベントについて各館が単独で企画されているようだが、今後は、全館を見通し、横のつながりをもって統一された企画を打ち出されることも検討されたい。
- ◇「江・浅井三姉妹博覧会」後、来年度以降の博物館や文化財保護センターの取組みについて、地域住民にスポットを当てるのか、市外・県外の多くの集客を見込むかなど、明確なビジョンをもって早期に検討されたい。

＜今後の取組み等＞

- ◇貴重な歴史的、文化的資産の調査成果をわかりやすく公開、活用することによって郷土の文化、先人などに対する市民の理解と意識の向上を図ります。【文化財保護センター】
- ◇長浜市には、全国に誇れる有形・無形の優れた文化財が数多くあります。これらの文化財を保護し、市民・国民の貴重な財産として永く後世に伝えてゆくため、さらに調査や修復事業などの保存事業を行います。【文化財保護センター】
- ◇開発事業等によって、現状が保存できなくなる遺跡の記録保存に努め、地域の文化遺産の保存を図ります。【文化財保護センター】
- ◇埋蔵文化財や民俗文化財、有形文化財などの歴史的文化的資産を保存し活用できる施設が望まれます。施設の有効活用の中で検討し、充実を図ります。【文化財保護センター】
- ◇合併により広域化した市域に点在する歴史文化施設については、地元住民や関係団体と連携して地域の特色ある伝統文化を守り、その情報を発信する拠点として魅力あるものになるように努めます。【長浜城歴史博物館】
- ◇江・浅井三姉妹博覧会での観光施策と博物館とが連携した取組みは、観光客誘致で大きなメリットがありました。今後も観光施策と一層の連携を図り、歴史文化施設の運営に努めます。【長浜城歴史博物館】
- ◇観光客誘致と地元住民(市民対象)の2つの視点から企画運営に取り組み、何度も足を運んでいただける博物館を目指します。【長浜城歴史博物館】
- ◇市北部(旧伊香郡域)に焦点を当て、当該地域の歴史文化を広く紹介するとともに、その地域の活性化に寄与できるような企画展示や講座等教育普及事業の開催を進めます。【長浜城歴史博物館】

IV 生涯学習社会づくりの推進と青少年健全育成

**文化芸術活動と生涯スポーツ振興
図書館サービスの充実**

＜具体的な方針＞

- ◇様々な学習機会とその成果の発表の場の提供
- ◇市民主役の豊かなスポーツ社会の実現
- ◇図書館のネットワークの整備、充実
- ◇文化芸術活動の支援
- ◇市民が生き生きと活動できる施設の整備・充実
- ◇生活に密着した図書館サービスの提供

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				具体的な評価等
			必要性	効果性	効率性	方向性	
48	図書館管理運営費	長浜図書館	B	B	B	D	市内6つの図書館のシステム統合により、貸出冊数は多少減少したものの物流やリクエスト数は大幅に増加しました。今後さらに6館体制での市全域への一体的なサービスを効率的に提供するために、組織や運営のあり方を見直す必要があります。
49	社会教育諸経費	生涯学習・文化スポーツ課	B	B	B	B	社会教育振興のあり方について協議・研究を進め、本課及び生涯学習施設等の事業計画について見直しをすすめました。
50	生涯学習推進事業費	生涯学習・文化スポーツ課	B	B	B	B	生涯学習大学講座「長浜学」や「淡海生涯カレッジ長浜校」の開講により、成人の学習機会の充実が図れました。また、「ながはま楽習塾」を開講し、市民が「学びを生かす機会」を提供していくとともに学習の成果を発表する場として「生涯学習推進のつどい」を実施しました。さらに、「生涯学習のおさそい」を発刊し、市民に学習情報を発信しました。
51	長浜市民交流センター管理運営事業費	生涯学習・文化スポーツ課	A	A	B	C	施設の利用者数は引き続き高いレベルを維持することができました。課題であった空調機器の改修を終了することができ、利用環境の改善も図れました。独自事業である「福寿大学」は参加者ニーズを反映した内容から引き続き受講者に好評となっています。
52	養蚕の館管理運営事業費	生涯学習・文化スポーツ課	B	B	C	C	指定管理期間が終了することから、今後の管理運営について検討した結果、神照地区西部地域での生涯学習活動の拠点にすべく当課の直営としました。施設は引き続き活発に利用されました。
53	公民館管理運営事業費	生涯学習・文化スポーツ課	B	B	B	C	生涯学習を推進するため、地域の市民ニーズを考慮するとともに、地域の特性を生かした事業や各種講座、イベント等を実施してきました。効率、効果的な施設運営に向け、改善見直しを行ないます。
54	公民館整備費	生涯学習・文化スポーツ課	A	A	A	A	西黒田公民館改築に関する実施設計並びに南郷里及び北郷里公民館の整備事業を予定どおり完了することができました。
55	成人式開催事業費	生涯学習・文化スポーツ課	A	B	B	B	市内3会場で実施しました。式典の部は長浜市が主催し、「交歓のつどい」の部は、新成人による実行委員会によって企画・運営を行ないました。式典への参加率も高まり、新成人としての自覚を促すよい機会となりました。
56	青少年教育推進事業費	生涯学習・文化スポーツ課	A	B	B	B	放課後子どもプラン推進事業は、新市内全域で実施することができるようになり、通学宿も市内全域に公募し、実施する団体が増えました。市域の広がりに応じた組織づくりや事業展開に努めました。
57	社会教育団体育成事業費	生涯学習・文化スポーツ課	B	B	B	B	合併により市PTA連絡協議会や市子ども会連合会の規模が大きくなりました。組織の再編や会員研修会を工夫するなどして活動支援に努めてきました。

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				具体的な評価等
			必要性	効果性	効率性	方向性	
58	勤労青少年施設等管理運営事業費	生涯学習・文化スポーツ課	B	A	A	B	指定管理者制度により効果的な施設の管理と運営を展開しました。施設の改修を実施し、利用環境を向上したことにより、今後一層の成果を期待します。
59	文化芸術活動振興事業費	生涯学習・文化スポーツ課	B	B	B	B	長浜市文化芸術振興に係る基本方針に沿い、文化芸術の鑑賞・発表の機会を提供しました。また、(財)長浜文化スポーツ振興事業団に事業委託を行い、質の高い文化芸術にふれる機会が提供できました。
60	市民文化ホール管理運営事業費	生涯学習・文化スポーツ課	B	A	B	C	指定管理者制度を導入した施設については、その効果を発揮しています。直営の施設では、管理形態の統一化などによる経費の平準化を行いました。有効な利活用策の検討を開始し、平成23年度に一定の方向性の集約を行いました。
61	体育振興事務経費	生涯学習・文化スポーツ課	A	B	B	B	各地域から選出された体育指導委員が中心となり、地域や学区、公民館区のスポーツ事業や振興を図ることができました。今後も、目に見える事業展開に努めます。
62	社会体育振興対策事業費	生涯学習・文化スポーツ課	A	B	B	B	長浜市スポーツ振興計画に沿い、市民のスポーツ実施率の向上のため総合型地域スポーツクラブの育成・支援や地域の体育振興会の指導を行い生涯スポーツの普及・振興に努めました。
63	スポーツイベント開催事業費	生涯学習・文化スポーツ課	A	B	B	B	生涯を通して楽しめるイベントの開催や、スポーツに親しむ機会を多く提供しました。また、(財)長浜文化スポーツ振興事業団に事業委託を行い効率的な事業展開を目指しました。
64	体育施設管理運営事業費	生涯学習・文化スポーツ課	B	B	B	C	指定管理者制度を導入した施設については、その効果を発揮しています。合併により大きく増加した直営の施設では、管理形態の統一化と経費の平準化を行ったが、今後、施設改修等の課題とともに施設のあり方について検討する必要があります。

【自己点検評価の指標】 ※ 詳細は1ページの「自己評価基準表」を参照

必要性	A：増加傾向にある	B：あまり変化していない	C：やや減少傾向にある	D：かなり減少している				
効果性	A：十分な効果あり	B：概ね期待どおり	C：やや低い	D：期待した効果なし				
効率性	A：効率的である	B：概ね認められる	C：やや低い	D：非効率的である				
方向性	A：重点化	B：現状維持	C：手段を改善する	D：効率化を図る	E：簡素化する	F：統合	G：廃止	H：完了

<事務評価委員会の所見>

- ◇各種イベントの開催事業について、民間のノウハウを取り入れるなど、常に創意工夫する意識を持って入場者・参加者を増やす取組みに努められたい。
- ◇公民館は地域における身近な学習の拠点であると同時に交流の場でもある。今後、一層地域にとって様々な分野で重要な役割を担う施設になると考えるが、そのあり方について再度検討する必要がある。
- ◇合併して類似施設が点在するが、各施設の目的を再確認し整理いただきたい。
- ◇文化芸術の振興事業に関して、事業委託の受け皿となる団体等の育成に積極的に取り組まれたい。
- ◇図書館の満足度は貸出冊数だけでは測れない。図書館利用について様々な角度からのデータ解析により、今後さらに効率的な運営に努めるとともに学校図書館との連携を図られたい。また、インターネット検索・予約サービスをはじめとする各種図書館サービスについてより効果的な周知に努められたい。

<今後の取組み等>

- ◇市民一人ひとりの生涯学習活動の高まりや広がりを支え、多種多様な活動が主体的に行えるよう、生涯学習推進体制の充実と活性化を図るとともに、学習機会の充実や学習情報の収集と発信に努めます。【生涯学習・文化スポーツ課】
- ◇新たな「公」の視点に立った、地域社会における公民館の役割を見直し、地域住民の学習やまちづくりの拠点として、地域連帯意識の向上を図りながら公民館の効率的な運営に努めます。【生涯学習・文化スポーツ課】
- ◇各種施設の管理については、個々の施設における設置目的を認識しその達成に向けた運営面での充実に努めます。また、利用者へのサービスの向上に向けた指定管理者制度の導入や直営施設でも各種改善への継続的な取り組みを行います。【生涯学習・文化スポーツ課】
- ◇広範になった地域の文化・芸術の振興と伝統文化の継承、発展に努めます。また、市民に伝えたい芸術について鑑賞・体験できる機会を提供する各種事業の改善を進め充実を図ります。また、文化芸術活動団体の育成と活動支援に努めます。【生涯学習・文化スポーツ課】
- ◇総合型地域スポーツクラブを中心とした市内でのスポーツ振興を推進し、「いつでも」「どこでも」「誰でも」親しめるスポーツの普及に努めます。また、活動の場となる施設の利用環境の整備を図ります。【生涯学習・文化スポーツ課】
- ◇システム統合により充実したサービスや、学校支援推進事業など図書館の魅力を積極的にPRすることで図書館の利用を啓発します。また、市内全6館の一体的な組織運営をしながら、地域に密着した情報提供の場として生涯学習の推進に努めます。【長浜図書館】

V 学校施設等の管理費など

<具体的な方針>

◇学校施設等の管理経費（光熱水費、消耗品費、人件費など）

◇教育委員会の事務経費（報酬、旅費、各種団体負担金など）

事業番号	事業名	担当	自己点検・評価				具体的な評価等
			必要性	効果性	効率性	方向性	
65	小学校管理費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	机・椅子の計画的な更新や、遊具の点検、修繕を行い、児童が安心して学校活動に励むことができる環境を整えることができました。
66	中学校管理費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	机・椅子の計画的な更新や、遊具の点検、修繕を行い、生徒が安心して学校活動に励むことができる環境を整えることができました。
67	幼稚園管理費	すこやか教育推進課	A	A	A	B	机の計画的な更新や、遊具の点検、修繕を行い、園児が安心して活動できる環境を整えることができました。
68	小学校管理費	教育指導課	B	B	B	D	児童が良好な環境の下で、気持ちよく勉学に励むことができました。また、教職員についても整った学習環境の中で質の高い教育を目指し取り組むことができました。
69	中学校管理費	教育指導課	B	B	B	D	生徒が良好な環境の下で、気持ちよく勉学に励むことができました。また、教職員についても整った学習環境の中で質の高い教育を目指し取り組むことができました。
70	小学校管理費	教育総務課	A	B	B	B	児童が快適に学校生活が送れるよう施設を管理し、経費の節減と省エネに努めました。
71	中学校管理費	教育総務課	A	B	B	B	生徒が快適に学校生活が送れるよう施設を管理し、経費の節減と省エネに努めました。
72	幼稚園管理費	教育総務課	A	B	B	B	園児が快適に学校生活が送れるよう施設を管理し、経費の節減と省エネに努めました。
73	教育委員会運営事務経費	教育総務課	B	A	B	A	教育行政に関する基本方針を決定するため定例会及び必要に応じ臨時会を開催しました。
74	教育委員会事務経費	教育総務課	A	B	B	B	事務評価委員会を開催しました。また、関係する協議会に参加し、直面する教育課題について情報交換や研究を行いました。
75	庁費	教育総務課	B	B	B	B	事務機器の共同利用やファイル・封筒の再利用など経費の節減に努めました。

【自己点検評価の指標】 ※ 詳細は1ページの「自己評価基準表」を参照

必要性 A：増加傾向にある B：あまり変化していない C：やや減少傾向にある D：かなり減少している

効果性 A：十分な効果あり B：概ね期待どおり C：やや低い D：期待した効果なし

効率性 A：効率的である B：概ね認められる C：やや低い D：非効率的である

方向性 A：重点化 B：現状維持 C：手段を改善する D：効率化を図る E：簡素化する F：統合 G：廃止 H：完了

<事務評価委員会の所見>

◇教育行政の基本方針を決定する教育委員会の会議開催や傍聴について、広く市民への周知に努められたい。

◇学校が開設するホームページについて統一した基準のもと情報掲載を行い、適切な管理・運用を図られたい。

◇学校に設置されている遊具をはじめとする備品等の管理について、引き続き、安全確保を徹底されたい。

<今後の取り組み等>

◇教育委員会の会議日程や議事録の公開について、ホームページ等を利用し、よりわかりやすい内容で掲載するなど積極的な周知を行います。また、教育委員会の透明性を確保するためにもより一層の情報発信の充実に努めます。【教育総務課】

◇遊具等の安全確保のため、引き続き、安全点検及び不都合箇所の修理を行います。【すこやか教育推進課】